



このたびは、ロンクリーンをお買いいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの「ご使用説明書」とこの説明書の末尾についている保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■お読みになった後は必ず大切に保管してください。

## ご使用説明書

〈水洗化対応簡易水洗トイレ〉

ロンクリーンデラックス

—品番—

LR-570

保証書付

### もくじ

|           |       |      |
|-----------|-------|------|
| 品番・型式記号説明 | …………… | P. 2 |
| 安全上のご注意   | …………… | P. 2 |
| ご使用にあたって  | …………… | P. 4 |
| 防寒対策について  | …………… | P. 5 |
| こんなときは    | …………… | P. 6 |
| 保証書       | …………… | 裏表紙  |

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。  
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

# 品番・型式記号説明

## ■ロンクリーンデラックス

- LR-570 ……洋式型本体（陶器製）・エロンゲート・密結型タンク（陶器製）水洗化対応

- |                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| ●P ……手洗なし                        | ●W ……手洗付        |
| ●H ……暖房便座                        | ●F ……凍結防止ヒーター付  |
| ●N ……洗浄ノズル付                      | ●N2 ……水抜付洗浄ノズル付 |
| ●MC4・MC5 ……マルチシャワー付<br>（温水洗浄便座付） |                 |

## 安全上のご注意 注意 ご使用前に必ずお読みください！

### 警告

#### 暖房便座付（品番H）・凍結防止ヒーター付（品番F）をご使用の方へのご注意

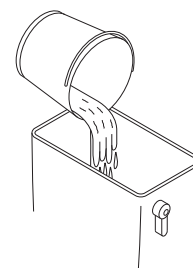
- 電源プラグに付着したほこりは取り除いてください。  
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 電源プラグはガタツキのないように根元まで差し込んでください。  
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 電源コードには重いものを乗せたり、ドアに挟んだり、たばねたりしないでください。  
（コードの破損や加熱により、感電や火災の原因になります。）
- 暖房便座・温水洗浄便座には水や小便、洗剤などをかけないでください。  
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 暖房便座・温水洗浄便座が損傷した場合には、使用を中止し交換してください。  
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 凍結防止ヒーター（水中ヒーター）は、必ず水没した状態でご使用ください。  
（発火による火災の原因になります。）

## 安全上のご注意 注意 ご使用前に必ずお読みください！

### 注意

- この製品は簡易水洗便器で、汲み取り式です。水洗トイレではありませんので、公共下水道や浄化槽には接続できません。便槽が一杯になる前に、必ず汲み取りを行ってください。  
（便槽があふれる場合があります。）
- ティッシュ、新聞紙、紙おむつ、生理用品など、水に溶けない紙は流さないでください。  
（汚水管が詰まり汚物が流れなくなる場合があります。）

- ロータンクや便器に衝撃を与えないでください。また熱湯をそそがないでください。  
(衝撃で破損したり、金具類が外れて漏水の原因になります。)
- 製品にワレやカケが発生したときは交換してください。  
(ワレやカケた箇所に肌が触れると、ケガをする場合があります。)
- 便座便ぶたの上には乗らないでください。  
(破損や落下により、ケガの原因になる場合があります。)
- 洋式便器に腰かけた時は、便ぶたや水タンクによりかからないでください。  
(破損や落下により、ケガの原因になる場合があります。)
- 製品は改造して使用しないでください。  
(故障の原因になる場合があります。)
- 便皿部分は定期的に掃除してください。  
(尿石などが付着して、便皿開閉不良の原因になる場合があります。)
- 便器を洗剤で洗った後は、水でよく洗い流してください。  
(プラスチック部分がいたんで、使用できなくなる場合があります。)
- 便器を洗う洗剤は便座にかけないでください。  
(便座をいためる原因になる場合があります。)
- 掃除をされる場合、手袋などで手を保護して行ってください。  
(金属や便器に当たり、思わぬケガの原因になる場合があります。)
- 凍結の恐れのある場合には、水タンク及び便器内の水を必ず抜いてください。  
(凍結により、水タンクや便器が破損する原因になる場合があります。)
- レバーは水を流したら、すぐに放してください。  
(レバーを途中で止めると、水が多量に流れ、便槽が満杯になる場合があります。)
- 水タンクに芳香剤(ブルーレット等)などの薬品を使用しないでください。  
(部品をいため、水漏れの原因になる場合があります。)
- 長時間断水した場合、ゴミの少ない水を水タンクに入れて使用してください。  
(ゴミがノズルに詰まり、水が流れなくなる場合があります。)



#### 手洗付(品番W)をご使用の方へのご注意

- 手洗ノズルの水が跳ねる場合は、水圧が高いので、止水栓で水量を調整してください。  
(便座や室内を濡らす場合があります。)

#### 暖房便座付(品番H)、マルチシャワー付をご使用の方へのご注意

- 長い時間座り続けしないでください。特にひふの弱い方はご注意ください。  
(座り続けると、低温ヤケドをする場合があります。)
- 暖房便座は便器からはずして、掃除をしてください。  
(便座の裏に小便がたまり、臭気や便座の破損の原因になる場合があります。)
- 長期間留守にする場合は電源プラグを抜いてください。  
(火災の原因になる場合があります。)
- マルチシャワーに付いている説明書を良くお読みのうえ正しくご使用ください。  
(感電、漏電、火災の原因になる場合があります。)

## 凍結防止ヒーター付（品番F）をご使用の型へのご注意

- 長期間留守にする場合は、電源プラグを抜き、水タンク内の水を抜いてください。  
（火災や陶器破損の原因になる場合があります。）
- 水タンク内を掃除する場合は、電源プラグを抜いてから行ってください。  
（感電する恐れがあります。）

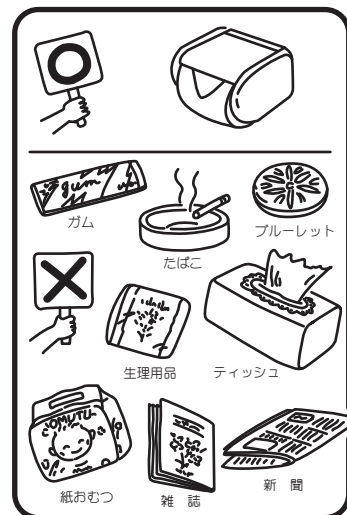
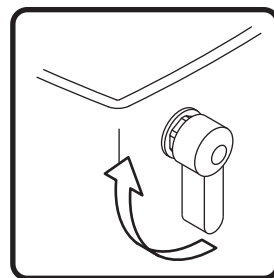
## 洗浄ノズル付（品番NまたはN2）をご使用の方へのご注意

- 洗浄ノズルご使用後は、必ずバルブを閉めホース内の水を抜いてください。  
（閉め忘れると、室内や他の家具を濡らす場合があります。）
- ホースは折り曲げたり傷付けたりしないでください。  
（ホースが破損し、室内や他の家具を濡らす場合があります。）

# ご使用にあたって

## ご使用方法

- ご使用後レバーを矢印の方向へ回してすぐに放してください。レバーを途中で止めないでください。  
⚠ 便槽がすぐにいっぱいになります。
- ご使用の紙は水に溶けやすい物をお使いください。  
⚠ ティッシュ、新聞紙、雑誌、紙おむつ、生理用品は流さないでください。
- プラスチックを使用している部分がありますので、タバコを投げ捨てないでください。
- 少量の水しか使いませんので、ご使用済みの紙はできるだけ丸めて、便器排便口に落としてください。



## ⚠ ご注意

- この製品は簡易水洗便器で、汲み取り式です。水洗トイレではありませんので、公共下水道や浄化槽には接続できません。  
寒冷地などの特定地域を除いて、通常の場合一ヶ月に一回汲み取りを行ってください。

## お手入れ方法

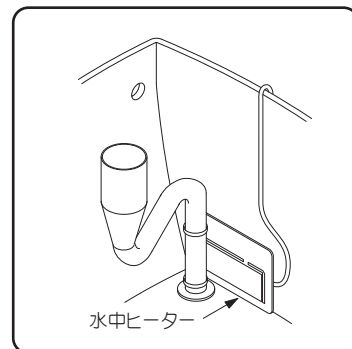
- 便器を洗浄剤で洗った後は、水で良く洗い流してください。
- 便器を洗う洗剤や薬品を便座にかけないでください。
- 便座、便ぶたを掃除する時は、やわらかい布やスポンジで水拭きし、洗剤は使用しないでください。
- 便皿部分は、定期的に掃除してください。尿石などで汚れがひどい時は、薬品（サンポール等）で洗い、その後水でよく薬品を洗い流してください。
- 暖房便座を便器から取りはずして、掃除をしてください。
- 掃除される場合は、手袋などで手を保護してください。



# ご使用にあたって【防寒対策】

## 凍結防止ヒーター付をご使用の方へ

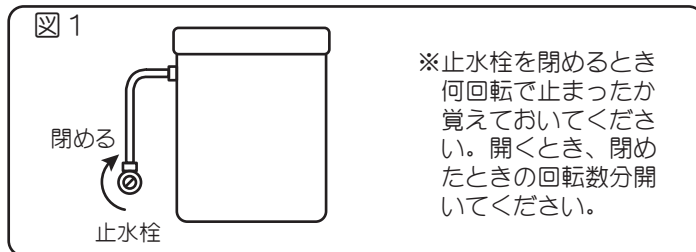
- 防寒ヒーター(水中ヒーター・管ヒーター)をご使用の場合は、寒冷の時期には電源を入れたままにしておき、暖かくなったら電源を抜いてください。
- このヒーターは-5℃まで耐えられます。-5℃以下になるような場合は、下記の水抜きによる凍結対策を行ってください。
- 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。凍結時期の場合は、下記の水抜きによる凍結対策を行ってください。



## 凍結防止対策 …………… (凍結すると器具が破損しますので、必ず器具内の水を抜いてください。)

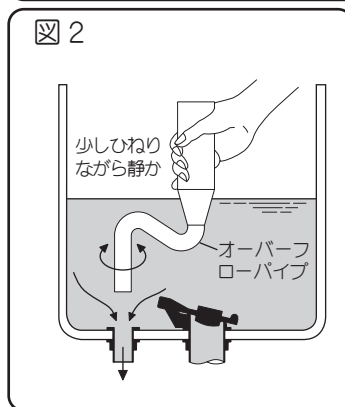
- 防寒ヒーターがなくて凍結のおそれのある場合、長期間使用しない場合は、次の方法で水タンクの水抜きをしてください。

①止水栓を止めます。(図1)



※止水栓を閉めるとき何回転で止まったか覚えておいてください。開くとき、閉めたときの回転数分開いてください。

②タンク内のオーバーフローパイプを少しひねりながら引き抜きます。(図2)



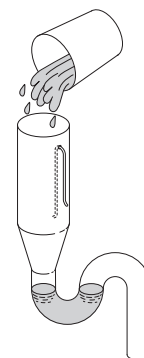
③これにより、水はオーバーフロー受を通り、U字溝の方へ流れていきます。なお、水タンクが空になってから、2～3回レバーをひねってください。

④水抜きが終わったら、オーバーフローパイプを受けに垂直に注意して差し込んでください。

## オーバーフローパイプについて

- 臭気がもれる場合は、必ずオーバーフローパイプに水を入れてください。

※オーバーフローパイプに付いている糸は外さないでください。



# こんなときは

| 状 態               | 原 因   | 処 理 方 法   |
|-------------------|---|---|
| 1. レバーを回しても水が出ない。 | ①タンク内に水が無い。<br>②止水バルブのクサリが外れている。                                    | ➡ 止水栓を開ける。<br>➡ クサリを正しく取り付ける。   |
| 2. 洗浄水が止まらない。     | ①バルブ受けにゴミが詰まっている。<br>②バルブ受け及び止水バルブに傷がついている。<br>③クサリがからみ止水バルブが浮いている。 | ➡ 止水栓を閉め、ゴミを取り除く。<br>➡ バルブ受け及び止水バルブを交換する。<br>➡ クサリを正しく取り付ける。                          |
| 3. 洗浄水が便器外に飛び出す。  | ①ノズルにゴミが詰まっている。<br>②ノズルの向きが正しくない。                                   | ➡ ノズルを外し、洗浄する。<br>➡ 水平に取り付ける。   |
| 4. 便皿に水がたまらない。    | ①便皿周辺部に紙や汚物が付着して、水がたまらない。<br>②便皿表面に尿石が付着している。                       | ➡ 便皿周辺部を棒タワシなどで掃除する。<br>➡ 尿石落としを使って掃除する。  |
| 5. 便皿が開かない。       | ①便槽が満杯でガス圧が強く、便皿を押し上げている。<br>②排便管が詰まり、汚物が便皿の開きを妨げている。               | ➡ 汲み取りを行う。<br>➡ 水を流しながら、詰まっている汚物を棒などで押し流す。  |
| 6. 床に水がもれる。       | ①水タンクの破損。<br>②便器本体から水がにじむ。<br>③便器本体の破損又は、ロト取り付け不良による。               | ➡ タンクを交換する。<br>➡ ナットの増し締めか、部品を交換する。<br>➡ 便器本体を交換する。<br>※工事店又は、メーカーにご相談ください。<br>(6の②③) |
| 7. 臭気もれる。         | ①オーバーフローパイプ内に水がない。<br>②便皿に水がたまらない。<br>③シーリングパッキンがずれている。             | ➡ 水を補給する。P. 5<br>➡ 上記4. を参照。<br>➡ 床フランジを外し、シーリングパッキンを取付直す。                            |
| 8. ウジ及びハエが出る。     |   | ➡ 便槽にウジ殺しなどの薬品を投入する。  |